

2026年1月15日

千代田区 環境まちづくり部 地域まちづくり課
麹町地域まちづくり担当課長
様

第3回次世代シンポジウムで参加者に日テレによる環境影響調査（抜粋）の
配布をお願いする要望書

要望者氏名 千代田区民の声を届ける会

区のまちづくりにつきまして、日ごろご尽力いただきありがとうございます。
また第3回番町次世代シンポジウムをご企画ください、感謝申し上げます。

【第3回番町次世代シンポジウムでの要望】

日本テレビ社が都市計画案の段階で行った「80mのビルを建てた場合の環境調査について、区の
「日本テレビ沿道のまちづくり」サイト

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/machizukuri/toshi/kekaku/guidelines/nihontvdori.html>に、
「二番町再開発計画（日本テレビホームページ）（外部サイトへリンク）」リンクの設定、ありがとうございます。
<https://www.bancho-forest.com/future/>

しかし日本テレビホームページの資料は事業概要が中心で、読み進めても環境影響調査の項目がありません。実際は同資料中の「開発に関するQ&A」ボタンを押せば見られますがそれもわからず、またページを相当進めないとたどり着けません。

住民の方々からは、「環境への影響調査資料は見たことがない」「ぜひ詳しく見たい」「ひとりで見てもよくわからない」「シンポジウムのような場所で皆さんに配布すべきではないか」との声が出ています。

懸念や期待を漠然と語り合うのではなく、よりよい方向に進めるために、二番町再開発計画案の基礎情報（ベース）を住民等の間で共有することがまず必要だと思います。調査全体は量が多いため、生活に影響が大きい一部、以下【配布希望資料】だけでも配布下さるよう、要望いたします。

【配布希望資料】

上記「二番町再開発計画」「開発に関するQ&A」「6.よくあるご質問と回答」「環境への影響について」<https://www.bancho-forest.com/pdf/future6.pdf>の一部（次ページ以降に添付）：

- | | | |
|-----|------------------|-----------|
| 1 1 | ビル風 別紙7 凡例 | (pdf p27) |
| 1 1 | ビル風 別紙7 現行との比較 | (pdf p28) |
| 1 8 | 交通量（車）60mとの比較 | (pdf p40) |
| 1 9 | 交通量（歩行者数）60mとの比較 | (pdf p41) |

以上、どうぞよろしくお願い申し上げます。

別紙7 風環境

Copyright 日本テレビ放送網株式会社
著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する

風環境の評価方法と評価尺度

- ・「A：現状」と「B：計画案」の風環境の変化について、数値シミュレーションにより概略把握した。
- ・評価は、元東京大学生産技術研究所村上教授らが作成した【風環境評価尺度】を採用。
- ・解析モデル化範囲は、1280m×1120m、高さ方向は700mとし、高低差は国土地理院の標高データを参照し、解析高さは地上2mと設定した。

【風環境評価尺度】

強風による影響の程度	ランク1	ランク2	ランク3
最も風の影響を受け易い用途の場所に許容される基準	風の影響を受け易い用途の場所に許容される基準	比較的風の影響を受け易い用途の場所に許容される基準	比較的風の影響を受け易い用途の場所に許容される基準
日最大瞬間風速 ^{*1} が10m/s(日最大平均風速 ^{*2} では10(G.F ^{*3})m/s)を超える頻度 1.0%(年間37日) 以下	2.2%(年間80日) 以下	3.5%(年間128日) 以下	
日最大瞬間風速が15m/s 以下	3.6%(年間13日) 以下	7%(年間26日) 以下	
日最大瞬間風速が20m/s 以下 0.08% (年間0.3日)以下	0.6% (年間2日)以下	1.5% (年間5日) 以下	
対応する空間 用途の例	住宅地の 商店街 野外レストラン	住宅街 公園	事務所街 等の現象が確実に発生する。

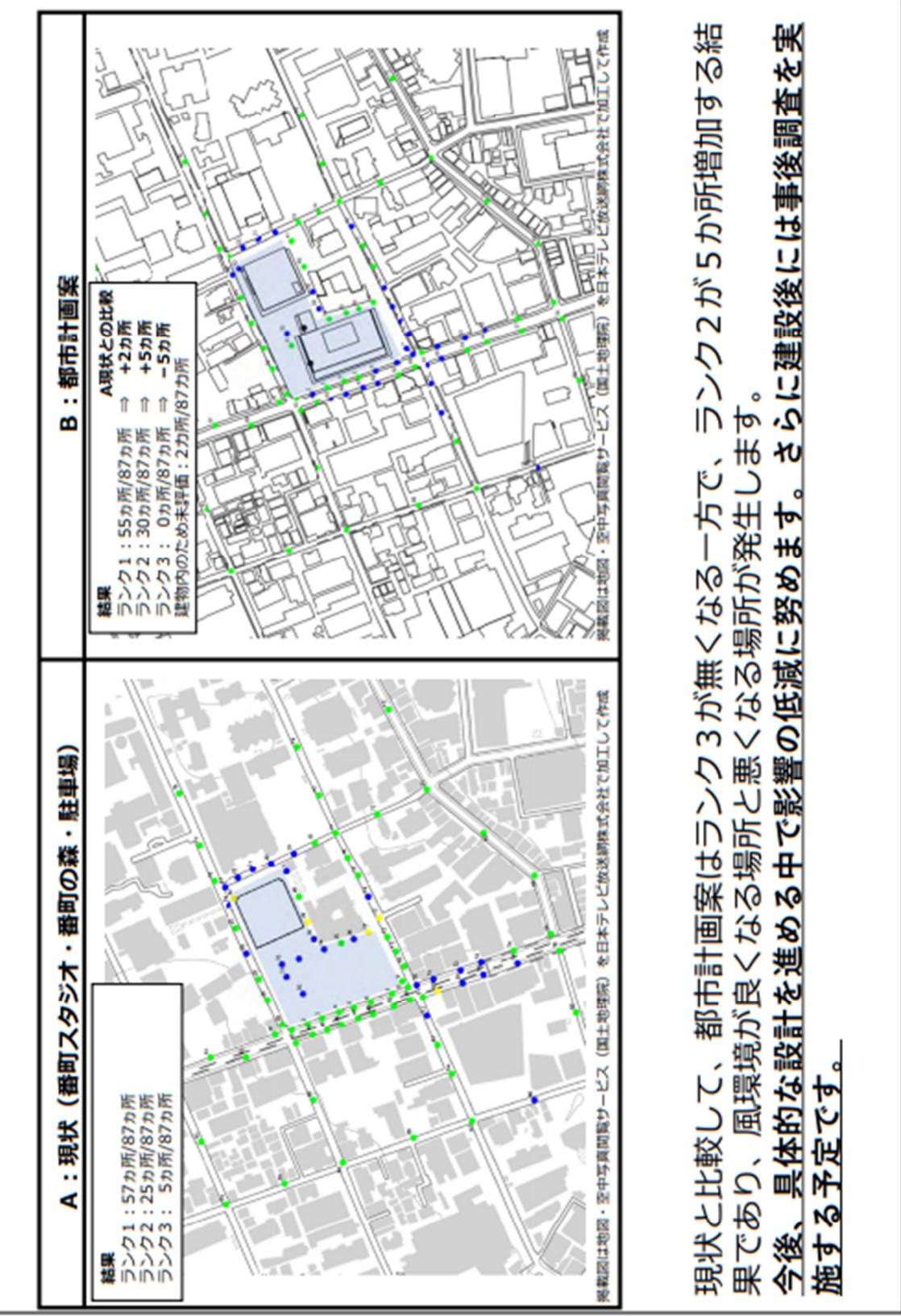
ランク3を超える場合は、ランク外と称する。

- * 1 日最大瞬間風速：評価時間2～3秒（ここで示す風速値は地上1.5mで定義）
地上高さ2mでもほぼ同じと考えられる。
1.0 m/s：ごみが舞い上がる。干し物が飛ぶ。
1.5 m/s：立て看板、自転車等が倒れる、歩行困難。
2.0 m/s：風に吹き飛ばされそうになる。
等の現象が確実に発生する。
- * 2 日最大平均風速：10分間平均風速
- * 3 G.F：ガストファクター（評価時間2～3秒）
突風率とも呼ばれ、最大瞬間風速の平均風速に対する比を表す。

G.F = (最大瞬間風速／平均風速)

別紙7

風環境のコンピュータシミュレーション結果（敷地内を含めた概略把握）



18. 交通量(車)の比較

Q. 現行地区計画における計画と今回の都市計画案の自動車交通量の変化について示してください。

A. 現行地区計画における計画(高さ 60m)と、今回の提案の比較をお示しします。
国土交通省の大規模開発地区関連交通計画マニュアルに基づいて算出した結果です。
ピーク時における車両台数の比較では、1時間あたり約20台増加する見込みです。
この台数で交差点処理が問題ないことを確認しております。

現行地区計画における計画 (高さ 60m)	地域課題を解決するために現行地区計画を 変更した場合の計画 (高さ 80m以下)
ピーク時車両台数は 約44台	ピーク時車両台数は 約64台

1.9. 交通量(歩行者)の比較

Q. 現行地区計画における計画と今回の都市計画案の歩行者交通量の変化について示してください。

A. 現行地区計画における計画(高さ60m)と、今回の都市計画案の比較をお示しします。
国土交通省の大規模開発地区関連交通計画マニュアルに基づいて算出した結果です。
ピーク時における歩行者数の比較では、1時間当たり約840人増加する見込みです。
この差異は、主に商業施設(スーパーなど)面積が多いこと、すなわち地域の皆さんにご利用いただける施設の多さによるものです。
歩行者数は、麹町駅や周辺駅などから再開発ビルに来る歩行者の合計値となります。

現行地区計画における計画（高さ60m）	地域課題を解決するために現行地区計画を変更した場合の計画（高さ80m以下）
ピーク時歩行者数は 約 1,260人	ピーク時歩行者数は 約 2,100人